

茶殻の有効成分を再利用した機能性段ボール 「茶香段ボール」

近年、茶飲料市場の拡大により、茶殻の排出量は増大しており、その発生量は約10万トンに達しています。

当社では緑茶茶殻に残存する**緑茶ポリフェノール(カテキン)**等の有用成分に着目し、その有効利用を目的として「茶香紙」を開発しました。

「茶香紙」は緑茶茶殻をそのまま紙にすき込むことにより、緑茶葉独特の香り効能を紙に付与させました。

研究の結果、「茶香紙」は緑茶茶殻に含まれている**緑茶ポリフェノール(カテキン)**の力で、優れた抗菌性や消臭性など緑茶特有の機能を有することが分かりました。

特長

1. 抗菌性

お茶に含まれるカテキンによる抗菌効果。カテキンとは緑茶に多く含まれる茶の渋み(ポリフェノール)で、黄色ブドウ球菌の繁殖を抑制する効果があります。

2. 消臭性

カテキンは人間が不快と感じるアンモニア、ホルムアルデヒドの悪臭に対して消臭効果が認められています。

用途

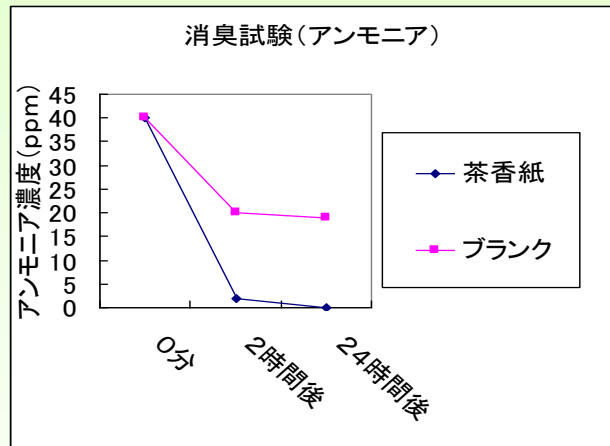


茶葉

茶香紙

抗菌性(黄色ブドウ球菌)

	菌数 (試験開始時)	菌数 (18時間後)
一般の紙	190,000個	6,600,000個
茶殻配合紙 「茶香紙」	190,000個	10個以下



ケース

〒739-0146 東広島市八本松飯田二丁目3番13号

広島段ボール株式会社

TEL.082-428-0225 FAX.082-428-0229